

# 進化経済学会

ニュースレター No. 41

Nov. 2016

進化経済学会事務局  
〒171-8501  
東京都豊島区西池袋3-34-1  
立教大学経済学部  
荒川章義  
03-3985-2345  
a-arakawa@rikkyo.ac.jp



撮影：佐々木啓明

+++++

オータムカンファレンス報告

理事会報告

会計関連報告

その他

会員異動

+++++

## オータムコンファレンス報告

大会実行委員長：佐々木啓明（京都大学）

2016年9月24日（土）、京都大学法経済学部東館みずほ講義室において、「第21回進化経済学会京都大会 オータムコンファレンス」が開催されました。66名の皆様にご参加いただき、盛況裡に閉幕しました。ご参加いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

オータムコンファレンスでは、「進化経済学のあゆみと展望——進化経済学を問う——」とテーマを設定し、パネルディスカッションを行いました。

進化経済学は多様性を強調する学問であり、進化経済学会は多様な考えの会員が集まっていますが、1つのまとまりのある経済学の学会として、何らかの共通点があるのではないのでしょうか。そこで、進化経済学とは何か、ということをご質問いただき、進化経済学会を代表する先生方と、部会代表者の方々にご登壇いただきました。

まず第1討論として、進化経済学会を代表する塩沢由典先生、西部忠先生のお二方に、「進化経済学とは何か」について、ご講演およびご討論いただきました。とくに、「経済学における理論の役割」について、お二人の間で議論が交わされました。さらに、それはフロアも巻き込んでの議論となり、大変な盛り上がりとなりました。

つづく第2討論、第3討論では各部会に報告いただきました。現在、進化経済学会にはいくつかの部会があり、精力的に活動されておりますが、これまで部会が一堂に会する機会はありませんでした。同じ学会に所属しているのに互いの活動を知る機会が少ない、というのは非常にもったいないことです。互いの活動を知ることで、各部会の活動のさらなる活性化、ひいては学会全体の活性化につながると期待し、それぞれの部会の切り口から共通のテーマについて語っていただきました。

参加部会は報告順に、非線形問題研究部会、制度と統治部会、北海道東北部会、企業・産業の進化研究会、観光学研究部会、現代日本の経済制度研究会、制度とイノベーションの経済学部会、の7部会です。コーディネーターの司会進行の下、各部会の日頃の活動報告をしていただき、それを踏まえて次は、進化経済学とは何かについて各部会の視点から説明していただきました。その後、部会間の見解の一致点、相違点などについて、パネリスト間で議論していただきました。こちらも、パネリスト間の議論、およびフロアからの質疑応答が活発に行われ、盛り上がりを見せました。

各部会が扱うテーマは多様ですが、「質的变化をとらえよう」という動的な視点によって経済理論の変革と発展

をはかる」という点については、共通していることを確認できたのではないのでしょうか。このオータムコンファレンスが進化経済学についての共通認識形成の一助となれば幸いです。

2017年3月25日（土）・26日（日）には「自然科学と社会科学の融合」というテーマで年次大会を開催いたします。経済物理学とマクロ経済学に関連した招待講演・特別セッション、企画セッション、一般セッション、ポスターセッション、学会賞受賞記念講演が予定されています。進化経済学会には経済学者のみならず、経済物理学や情報科学等を専門とする自然科学系の方々も所属されており、自然科学と経済学の融合が促進される機会となることを期待しております。プログラムの詳細は京都大会のウェブページに掲載してまいります。年次大会にも是非ご参加ください。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

京都大会実行委員会

依田高典

宇仁宏幸

澤邊紀生

佐々木啓明（大会実行委員長）

第21回進化経済学会京都大会ウェブページ

<http://jafeekyoto.jimdo.com/>

## 第Ⅶ期第3回理事会記録

理事（事務局）：荒川章義（立教大学）

日時：2016年9月24日（土）11:30~12:30

場所：京都大学法経済学部東館地下1階 みずほホール

出席者：有賀裕二（会長）、西部忠（副会長）、浅田統一郎、池田毅、磯谷明德、依田高典、植村博恭、宇仁宏幸、江頭進、岡村東洋光、吉地望、佐々木啓明、澤邊紀生、塩沢由典、瀬尾崇、谷口和久、徳丸宣穂、中原隆幸、服部茂幸、原田裕治、廣瀬弘毅、藤本隆宏、宮本光晴、八木紀一郎、吉田雅明、荒川章義（事務局）

欠席（委任状あり）：青山秀明、小川一仁、福留和彦（会計）、吉田昌幸

### 1. 報告

#### 1. 1 会勢報告

荒川事務局長より会勢報告があった。

#### 1. 2 第21回大会報告申込状況について

佐々木京都大学大会実行委員長より、現状で企画セッション2件、特別セッション2件の申し込みがあり、全体で20件ほどセッションを作りたい旨報告があった。

#### 1. 3 日本経済学会連合報告

池田担当理事より提出された資料を回覧した。

#### 1. 4 各部会報告

特になし

#### 1. 5 NPO 法人への移行について

荒川事務局長より、認定 NPO 法人取得のための条件の内 PST（パブリックサポートテスト）の条件を満たすのはほぼ不可能であり、NPO 法人化は非常に難しい旨報告があった。

### 2. 議題

#### 2. 1 入退会について

4名の入会申し込み者ならびに会費滞納による退会者について提案があり、これを承認した。

#### 2. 2 2015 年度会計決算報告

福留会計担当理事が校務により不在のため、荒川事務局長が福留理事の作成した資料に基づき、2015年度の決算報告を行った。その後、吉地監査委員、廣瀬監査委員の適正であるという意見表明があり、これを承認した。

#### 2. 3 フェローの選定について

有賀選考委員会委員長より4名の会員をフェローとして選定する旨提案があり、審議の結果これを承認した。また、荒川事務局長より、4名のフェローの

授賞式は3月の大会の総会時に行う旨、説明があった。

#### 2. 4 学会賞の選定について

八木選考委員会委員長より塩沢由典会員の『リカード貿易問題の最終解決-国際価値論の復権』（岩波書店、2014年）に第1回の学会賞を授与することが提案され、審議の結果これを承認した。また八木委員長より、現在の学会賞の規程では、いったん推薦された著作は3年間有効であると規定されているが、これは発表後3年間有効であるという解釈でよいかという確認がなされ、それでよいことを確認し、3月の総会で規程を修正のうえ報告することとした。また八木委員長より、選考委員4名の内1年任期の2名について後任の委員を決定する必要がある旨説明が行われ、審議の結果、青山理事と宇仁理事を新しく選考委員に任命することを決定した。

#### 3. 有賀会長より挨拶

有賀会長より大会の準備が順調に進んでいることに謝意が表された。また学会誌 EIER が来年度よりトムソンロイターの提供する Journal Citation Reports の対象になる旨報告があった。

## 会計関係報告

福留和彦（会計担当理事）

### 1. 平成27年度（2015年度）収支計算書決算報告

資料1「2015年度収支計算報告書（監査済）」参照

#### 1-1. 収入（要点のみ）

**会費収入：過去3カ年で低下**

正会員当該年度会費から賛助会員会費まで全てを含めた会費収入の推移（3カ年）

420万5,000円（2013年度）→380万2,000円（2014年度）→362万2,000円（2015年度）

★会員勧誘（会勢拡大）の必要性あり。

#### 1-2. 支出（要点のみ）

**予算案に対して概ね決算額が下回る**

- ・諸経費の節約
- ・学会賞の未執行
- ・交通費は日本学術振興会による会計実地検査への立ち会いに伴う支出

**英文誌編集刊行費の大幅予算超過について**

2015年度予算240万円

↓ ↓

同年度決算351万3,708円

＜内訳＞初期費用（EIER vol.1-11 電子化等）＋消費税＝135万3,708円

経常的な英文誌編集刊行費（EIER vol.12, no.1-2）＋消費税＝216万円

参考：国際文献社 英文誌編集刊行費 277万6,520円（2013年度決算）

同 上 171万3,713円（2014年度決算）

※2014年度は、国際文献社からシュプリングへの移行に伴う未執行分約108万円が含まれていない。

★初期費用のため見かけ上増大。経常的な編集刊行費ではシュプリングが安価。

#### 1-3. 第20回大会収支

**大会実行委員会の努力により、オータムコンファレンスおよび本大会とも予算＋大会収入が支出を上回った。**

- |        |                                 |                       |
|--------|---------------------------------|-----------------------|
| ・オータム： | 予算40万円＋大会収入23万4,500円＝63万4,500円  |                       |
|        | 支出55万404円                       | 差額8万4,096円            |
| ・本大会：  | 予算70万円＋大会収入89万2,564円＝159万2,564円 | →51万5,291円            |
|        | 支出116万1,369円                    | 差額43万1,195円（学会口座へ返金済） |

### 2. 繰越金推移（資料2）

2014年度565万4,415円から2015年度435万7,378円に減少。減少幅129万7,037円。

原因：①会費収入の減少 ②英文誌編集刊行費の見かけ上の増大



進化経済学会  
平成27年度 収支計算書決算報告  
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

| 収入              | 予算案        | 決算額        | 増減       | 支出              | 予算案        | 決算額        | 増減         |
|-----------------|------------|------------|----------|-----------------|------------|------------|------------|
| 会費              | 3,722,000  | 3,822,000  | -100,000 | 大会費             | 1,100,000  | 1,711,773  | 611,773    |
| 正会員当年度          | 3,105,000  | 3,105,000  | 0        | オーストラリア・コンファレンス | 400,000    | 550,004    | 150,004    |
| 正会員前年度          | 150,000    | 150,000    | 0        | 本大会             | 700,000    | 1,613,389  | 461,389    |
| 幹事正会員当年度        | 150,000    | 150,000    | 0        | 英文訳集発行費         | 2,400,000  | 3,513,708  | 1,113,708  |
| 幹事正会員前年度        | 25,000     | 25,000     | 0        | 通信費             | 100,000    | 2,108      | -77,892    |
| 幹事正会員前年度        | 2,000      | 2,000      | 0        | 交通費             | 0          | 30,360     | 30,360     |
| 幹事正会員前年度        | 50,000     | 50,000     | 0        | 事務用品費           | 120,000    | 19,800     | -100,200   |
| 幹事正会員前年度        | 120,000    | 120,000    | 0        | 謝金              | 20,000     | 18,118     | -1,882     |
| 幹事正会員前年度        | 1,127,084  | 1,127,084  | 0        | 送金手数料           | 20,000     | 12,844     | -7,156     |
| 大会収入            | 750,000    | 750,000    | 0        | 会費              | 0          | 0          | 0          |
| オーストラリア・コンファレンス | 150,000    | 234,590    | 84,590   | 印刷費             | 0          | 0          | 0          |
| 本大会             | 600,000    | 892,594    | 292,594  | 事務委託費           | 690,000    | 647,619    | -42,381    |
| CD販売            | 0          | 0          | 0        | 監修文庫費           | 0          | 0          | 0          |
| CD販売            | 0          | 0          | 0        | 監修文庫費           | 0          | 0          | 0          |
| 寄付金             | 0          | 0          | 0        | 209 助成金補助費      | 100,000    | 71,860     | -28,140    |
| 書籍刊行代           | 350,000    | 350,000    | 0        | 経済学協会会費         | 35,000     | 35,000     | 0          |
| 印刷費             | 5,000      | 14,840     | 9,840    | 学費              | 150,000    | 0          | -150,000   |
| 利用料(ハンドブック)     | 0          | 0          | 0        | 学費              | 0          | 0          | 0          |
| 当年度収入合計         | 4,827,000  | 4,786,153  | -40,847  | 予備費             | 100,000    | 0          | -100,000   |
| 前期繰越金           | 5,654,415  | 5,654,415  | 0        | 当年度支出合計         | 4,835,000  | 6,063,190  | 1,228,190  |
| 総計              | 10,481,415 | 10,420,568 | -60,847  | 繰越金             | 5,648,415  | 4,357,378  | -1,289,037 |
|                 |            |            |          | 繰越金             | 10,481,415 | 10,420,568 | -60,847    |

上記の通り相違がないことを確認いたしました

28年 9月 1日

進化経済学会監査委員



望 土地

上記の通り相違がないことを確認いたしました

28年 9月 17日

進化経済学会監査委員



教 瀬 廣

貸借対照表  
(平成28年3月31日現在)

|        | 借方        | 貸方         |
|--------|-----------|------------|
| I 流動資産 |           |            |
| 現金     | 0         | 50,000     |
| 預金     | 853,387   |            |
| 普通預金   | 3,238,700 |            |
| 郵便振替   |           |            |
| 未収金    | 515,291   |            |
| 正味財産   |           |            |
| 次期繰越金  |           | 5,654,415  |
| 前期繰越金  |           | -1,297,037 |
| 合計     | 4,407,378 | 4,407,378  |

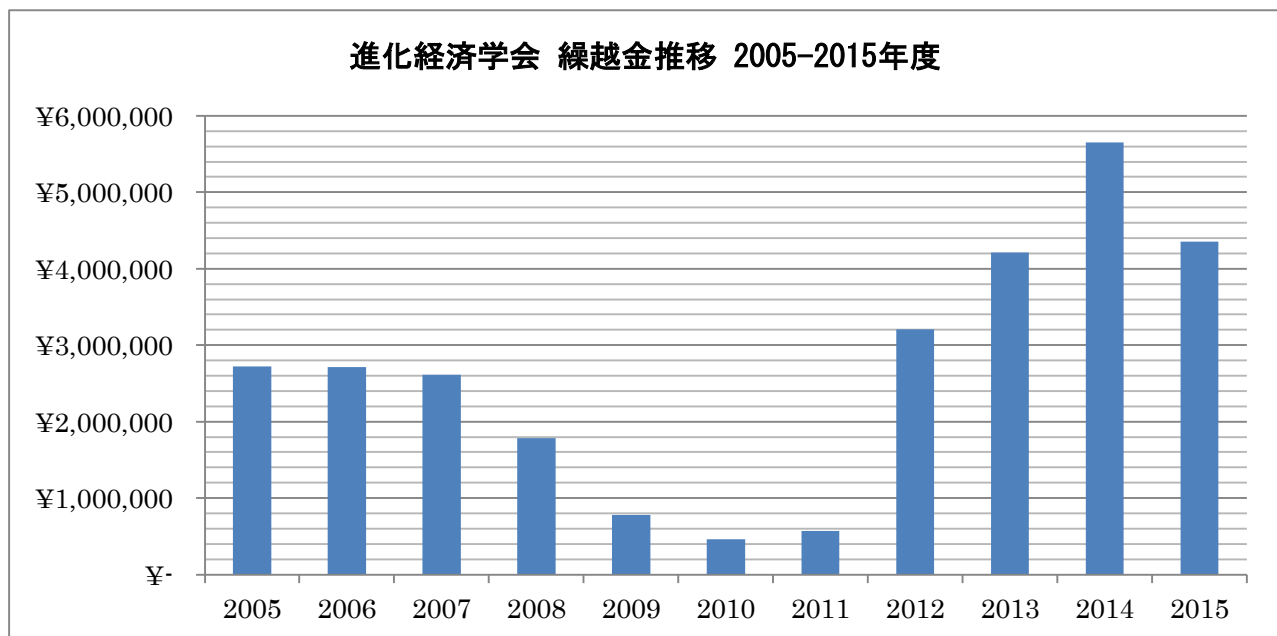
財産目録  
(平成28年3月31日現在)

| 科目   | 管理部門                         | 金額                   |
|------|------------------------------|----------------------|
| 流動資産 |                              |                      |
| 現金   |                              |                      |
| 預金   | 貸付担当理事<br>学生会務部(国際文庫) 郵便振替口座 | 653,387<br>3,238,700 |
| 未収金  | 第20回大会預金                     | 515,291              |
| 資産合計 |                              | 4,407,378            |

(負債及び正味財産の部)

| 科目         | 金額         |
|------------|------------|
| 流動負債       |            |
| 前次会費       | 50,000     |
| 負債合計       | 50,000     |
| 正味財産合計     |            |
| 前期繰越金      | 5,654,415  |
| 当期収支差額     | -1,297,037 |
| 負債及び正味財産合計 | 4,407,378  |

【資料2】



## 第1回学会賞の選考結果について

進化経済学会賞選考委員長 八木紀一郎

第1回の学会賞の選考は、藤本隆宏、吉田雅明、植村博恭、八木紀一郎（委員長）の4会員を委員として、2016年4月末までに応募があった著作および *Evolutionary and Institutional Economics Review* に掲載された論文計15点を対象としておこなわれました。2016年9月24日に開催された進化経済学会理事会は、選考委員会が提出した「選考報告」および「授賞理由案」に基づいて、本年度学会賞を『リカード貿易問題の最終解決－国際価値論の復権－』（岩波書店、2014年3月刊）を著した塩沢由典会員に与えることを決定しました。以下が、授賞理由です。なお、第2回学会賞の応募要項は、新選考委員会が成立する2017年3月末に公表される予定です。

### 授賞理由

塩沢由典会員著書『リカード貿易問題の最終解決－国際価値論の復権－』に第1回進化経済学会賞を授賞する理由は、この著作がとりあげている問題の重要性とそれに対する著者の「解決」が経済学の将来の発展に対して有する意義を評価するからである。

この著作は、表題からすると国際経済学というサブディシプリンの1分野で過去の経済学者が論じた問題を再検討した懐古的な著作のように受け取れるかもしれないが、実はその正反対である。

本書は、最終財の貿易を論じるにとどまったリカードに対して中間財（投入財）の貿易を含む「リカード・スラッファ貿易経済」を対象にして問題を現代的に拡張している。それは、産業内・企業内貿易および企業間の生産性の差異を考慮した最近の貿易理論をも包摂できる枠組みである。しかも、本書の主要内容は、生産費にもとづいた価格という古典派（リカード）価値論を放棄することなく、貿易によって結びついた世界における「国際価値」の存在を証明したことにある。この「国際価値」が、貿易財の価格のみならず、それらと各国賃金率の組み合わせであることの意味は重大である。それは国ごとの実質賃金率の差異を基礎づける理論として、国際貿易が各国の賃金率を均等化するという非現実的な「要素価格均等化定理」に対する明確なオルターナティブになっているからである。また、価格調整による需要供給の均等化を前提しないことによって、労働力その他資源の不完全雇用を許容するので、失業の発生等の貿易摩擦を分析する可能性を拓いている。

リカードが後にのこした貿易財の価格決定の問題（リカード問題）に対して、貿易をおこなう2国の他国財に対する相互的需要によって答えようとしたJ・S・ミルの「解決」が非現実的なばかりか、古典派価値論を否定し、需要による価格形成を軸にした新古典派的思考に道を拓いたという著者の学史解釈も興味深い。著者の考えに従えば、19世紀においては国内価値論にとどまった古典派価値論は、それを国際価値論と結びつけたこの著作によって現代的に再生したことになるだろう。

もちろん、この著作は、現実の経済主体の多様な行動を直接記述するものでもなければ、それらの複合として現れる利害対立や進化的なプロセスを取り扱うものでもない。しかし、新古典派的な単純化を拒絶して、多様な技術、国ごとの賃金率の差異、不完全雇用の可能性を取り入れた「国際価値論」を軸にした現代古典派的な理論は、そのような領域の研究と両立可能である。そうしたより現実的なレベルでの研究に対して、本書の「国際価値」論がどのような意義をもちうるかは、今後の経済学の発展のなかで明らかになることであらう。

## 編集後記

いつも原稿にご協力いただきありがとうございます。皆様のご協力のおかげで11月に41号のニューズレターを配信することができました。

本年度のオータムカンファレンスは「これまでの進化経済学のあゆみと展望」をテーマに様々な議論や情報交換がなされたようです。佐々木会員のオータムカンファレンス報告にもあるように、「質的变化をともしう動的な視角によって経済理論の変革と発展をはかる」という共通認識は今後の進化経済学の発展を考える上でも重要なものであると思います。本大会は「自然科学と社会科学の融合」というテーマで来年3月25日と26日に京都大学百周年記念館、法経済学部本館にて開催されます。こちらの方への参加もよろしくお願いします。

本大会 HP : <http://jafeekyoto.jimdo.com>

最後になりましたが、ニューズレターに関するご意見等ございましたらお寄せいただけると幸いです。今後よろしくお願いします。

ニューズレター編集担当：吉田 昌幸（上越教育大学）